

第八回 貴族院議事速記録第十九號

明治二十八年一月六日(水曜日)

午前十時四十九分開議

議事日程 第十九號 明治二十八年二月六日

午前十時開議

第一 請願委員長公爵徳川家達君報告

第二 海軍刑法中改正法律案(政府提出)

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 臘虎臍肭獸獵法案(政府提出)

第五 刑法附則中改正法律案(衆議院提出)

第六 吉物商取締法案(衆議院提出)

第一 読會ノ續(特別委員長報告)

第一 読會ノ續(特別委員長報告)

第一 読會ノ續(特別委員長報告)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨五日本院ニ於キマシテ衆議院提出、明治二十三年法律第七號廢止法律案、明治十八年布告第二號廢止法律案、明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中改正法律案ヲ否決致シマシタル旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日本院ニ於テ可決ニ相成リマシタル教育高等會議及教育地方會議ヲ設タル建議案、電信電話事業ニ關スル建議案ヲ即日政府ニ提出致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ政府提出、内務省所管諸官衙及議院建築費並筑後川修築費繰越ニ關スル法律案ヲ受領致シマシテゴザイマス、議事日程ニ移リマス、請願委員長公爵徳川家達君報告、

○公爵二條基弘君 議長、
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 二條公爵、
(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)

○公爵二條基弘君 本日ハ請願委員長副委員長兩委員共ニ缺席デゴザイマスニ依ツテ私が請願委員一人デアリマスカラシテ代ツテ御報告ヲ致シマス、去ル二十六日御報告致シマシタル後一昨四日マテノ間ニ請願委員會デ受取リマシタ所ノ請願書ハ五十八通、其中テ制規ニ違ツタノデ却下ヲ致シマシタノガ二通ニアリマス、又文書表第二回報告中デ院議ニ付スルト決議致シマシタノハ、第四十七號、第四十八號、第四十九號、第五十六號、第五十七號、第五十八號、第五十九號、第六十號、第六十一號、第六十二號、第六十八號、第七十一號、第七十五號、第七十六號、第七十九號、是レハ二通、第八十一

號、第八十三號、第八十七號、第八十八號ト此十九件二十通デアリマス、其他二十一件二十五通ハ院議ニ付スルヲ要セズト議決致シマシタ、尤モ四十號、六十四號、七十八號ノ三通ハ未ダ決議ニハナリマセヌケレドモ、其中ニ決議ヲ以テ院議ニ付スルコトニ致シマス、此段御報告致シマス、
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 海軍刑法中改正法律案、政府提出、第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス、

(山本書記官朗讀)
海軍刑法中改正法律案
右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治二十八年二月四日

海軍刑法中左ノ通改正ス
内閣總理大臣伯爵 伊藤博文
海軍大臣伯爵 西郷從道

第三十一條中第百七條ノ下「第百三十三條第百三十四條第百三十五條」ノ十
八字ヲ加フ

第一百三十三條中「輕禁獄」ヲ「輕懲役」ニ「輕禁錮ニ處シ」ヲ「重禁錮ニ處ス」ニ改メ「將校ハ剝官ヲ附加ス」ノ九字ヲ削ル
第百三十四條中「輕禁獄」ヲ「輕懲役」ニ「二年以下ノ輕禁錮ニ處シ」ヲ「二年以下ノ重禁錮ニ處ス」ニ「五年以下ノ輕禁錮」ヲ「五年以下ノ重禁錮」ニ「一年以下ノ輕禁錮ニ處シ」ヲ「一年以下ノ重禁錮ニ處ス」ニ改メ「將校ハ剝官ヲ附加ス」ノ九字ヲ削ル

(政府委員伊藤雋吉君演壇ニ登ル)

○政府委員(伊藤雋吉君) 索ニ提出ニナリマシタ海軍刑法中ノ改正案ノコトニ附キマシテハ理由ニゴザイマス通り略々御分リニナリマセウト考ヘマシテ、強テ多辯ハ要シマセヌ、唯大要ノ事ヲ一言御聽ニ入レタイト存ジマス、此改正ノ大趣意ハ今日行レテ居リマス所ノ刑法中ノ逃亡犯ニ付キマシテノコトニ係リマス改正デゴザイマス、實ハ昨年以來今日ノ有様ニ於キマシテハ此軍人軍屬ガ此際逃亡致シマス様ナコトハ決シテ今日マテモアリマセズ、是レカラ先キモ絶エテナイト斷言シテ宜カラウト存ジテ居リマスデゴザイマスガ、併シ平時ニ於キマシテ是レマデノ經驗上統計上カラ見マスルト重ニ海軍卒ノ所ニ於キマシテノ犯者ト申シマスルモノハ十二九分ハ皆此逃亡デアリマスルノ

二於キマシテハ輕禁錮ニ處スルコトニナツテ居リマス、戰時ニ逃亡スル者ハ輕禁獄ニ處スルコトニナツテ居リマス、所ガ此度ノ改正ニナリマスルト輕禁錮ニ處シマスルノヲ重禁錮ニ處スルトナルノデ、是レマデ輕刑ニ處シタモノヲ重イ刑ニ處スル様ニ見エマスル、夫レハ文字上相違ナイデアリマスガ其實ハサウデナイノデゴザイマス、陸軍ニ於キマシテハ元ハ現行ノ海軍法律ト同ジ事デ陸軍ノ平時ニ於テ逃亡シマシタモノハ輕禁錮ニ處シマシタノヲ陸軍デハ早ク氣ガ付イテ先年既ニ重禁錮ニ處スルコトニ改シテ居リマス、海軍モ夫レニ氣ガ付イテ居リマシテ是非陸軍ト同ジクシナケレバナラヌ、又シナケレバナラヌ道理ガアリマシタ故ニ早ク改メタイト考ヘテ居リマシタケレドモ、ツイ今日ニ相成リマシタ譯デ、戰時ニ於キマシテハ決シテ逃亡致シマスル様ナ者ハ唯今デモ一人モアリマセヌデゴザリマスルカラ、先づ是レハ善後ノ策デ、多イモノハ逃亡デアリマスルカラ是非輕禁錮ヲ重禁錮ニ改メナケレバナラヌト云フ必要ガ生ジマシタノト、元ト此輕禁錮ヂヤノ輕懲役ヂヤノト申シマスル刑名ノアリマスル分ハ先づ國事犯ノ様ナ犯者ニ向シテシマスル刑デアリマス、重禁錮以上ハ是レハ以前ニ申シマス破廉耻ト申ス様ナモノニ當テルコトニナッテ、此方ノ犯者ニ向シテ定役ヲ加ヘテ、禁獄サレテ居ル間ニ於キマシテ定役ヲ執リマシテ體ノ運動ヲサセマスルコトニナツテ居リマス、輕禁錮以上ニナリマスルト是レニハ定役ガアリマセヌノデ、先づ逃亡ト申シマスレバ破廉耻ノ方ニ近イモノデアルト云フ陸軍杯ノ見込デアリマシテ是レハ重禁錮ニ改マリマシタ譯デ、此度海軍ノ提出致シマシタノモ全ク其理由デアリマス、大要サウ云フ譯デアリマスカラ宜シク……

○渡正元君 政府委員ニ一ツ御尋ヲ致シタイ、唯今ノ御演説ニ附イテ大體ハ了解致シマシタガ、此改正案中ニ「將校ハ剝官ヲ附加スノ九字ヲ削ル」トアリマス、其削ル理由ハ如何デアリマスカ御辯明ヲ願ヒマス、

○政府委員(伊藤雋吉君) 是レカラ御答致シマス、是ハ現行ノ刑法中ニモ輕禁錮ニ處シ將校ハ剝官ヲ附加スルコトニナツテ居リマス所ガ重禁錮ト之ヲ改メマスルト重禁錮ニハ極メテ剝官ヲ附加スルト云フ本文ガアリマス、故ニ其將校以上ノ剝官ヲ附加スルト云フ字ハナクテ宜シイノデアリマス、

○渡正元君 了解致シマシタ。

○伯爵小笠原忠忱君 質屋取締條例ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスガ……○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 御退席ニナルト少シ定足數ニ差支ヘマスデゴザイマス、唯今ハ御退席ニナラヌコトヲ希望致シマス、……本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、

○子爵堀田正養君 本案ノ審査特別委員ハ人員ヲ九名トシテ議長ノ選定ニナラムコトヲ希望シマス、

○鈴木傳五郎君 堀田君ニ贊成、

○男爵中川興長君 堀田君ニ贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ハ議長ノ選定ニ託スト云フ堀田子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、起立者 多數

(男爵小澤武雄君演壇ニ登ル)

○男爵小澤武雄君 腸虎臘胸獸獵法案特別委員長立花伯爵ガ今日ハ不參ニ附キマシテ本員ガ代ツテ特別委員會ノ經過ヲ御報道ニ及ビマス、此法案ハ二三ノ修正ヲ加ヘマシタ、他ハ委員會ノ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ譯デゴザイマス、夫レデ第四條ノ「一切ノ」ト云フ二字ヲ削除致シマシタ、是レハ第三條ノ終ノ所ニモ「船籍證書及獵獲物ヲ差押フルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、此四條ノ仕舞ノ所ハ「獵船、船具、獵具及一切ノ獵獲物ヲ沒收ス」トゴザンス、テ同ジ様ナ意味ノ所デアリマスルカラシテ此一切ト云フ字ハナイ方ガ寧ロ疑ガ起ランデ宜カラウト云フ理由ヲ以テ削除スルコトニ修正ヲシタ、第五條ノ「獵獲物ノ検査規則ニ違背シタル者」ト申スノヲ「検査ニ關スル規定ニ違背シタル者」ト云フコトニ修正致シマシタ、此理由ハ検査規則ト云フモノハ斯ウシソノ名稱ニナツテ居リマスルガ、此法案ノ中ニ検査規則ト云フモノハ斯ウシテ定メルト云フコトハ見エマセズ、第二條第三條アタリニモ「勅令ノ定ム所ニ依リ」云カトゴザイマスルカラシテ、是レハ検査ニ關スル規定ト爲スベキガ至當デアラウト云フコトデ斯ウ修正ヲ致シマシタ、第八條ヲ削除致シマシタノハ是レハ此明文ガナクテモ刑法ノ總則ニ依ツテ自然ト行レルノデゴザイマスカラ寧ロ是レハナイ方ガ宜カラウト云フコトデ削除致シマシタ、尙ホ申落シマシタガ、第六條ノ此「一圓以上二十圓以下」トアル所ヲ五十圓ト云フコトニ修正ヲ致シマシタ、是レハ二十圓以下デハ餘り刑ガ輕カラウ、且ツシテハ段々審査モ遂ゲマシタガ、是レマデノ太政官ノ布告其他勅令デ此臘虎

前ノ五條ニモ「一圓以上五十圓以下」トナツテ居リマスルカラ二十圓ヲ即チ五十圓ニ改メタ次第ゴザイマス、修正ノ事柄ハ夫レダケ……此法案ニ就キマシテハ段々審査モ遂ゲマシタガ、是レマデノ太政官ノ布告其他勅令デ此臘虎ニ附イテハ密獵船杯ガ澤山參ルト云フ様ナコトカラシテ隨分世間ニモ論ガアルノデゴザイマスガ、併シ此法案ダケデハ一般ノ日本海ニ來ル所ノ密獵船ヲ

十分ニ止メルコトハ出來マセヌ、唯此第二條ノ精神デ見テモ日本ノ領海ニ外及バヌノデゴザイマスカラ、尙ホ進ンダ手段ヲ求メラレルナラバ求メタイガト云フ研究モ委員會致シマシタ、ケレドモ是レハ外國トノ關係モアッテ今日直ニ如何トモスベカラザルコトデアルカラ、先ツ此法案ヲ持ヘテ置カナイト云フト右ノ如キ希望モ達スルコトガ出來ナイカラ、其階段トシテモ今日ハ此法案ガ甚ダ必要デアルト申スコトヲ委員會ハ認メマシタ、

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 本員モ此特別委員ノ一人デゴザイマスルガ、此法案ヲ今日出シマセヌデハナラスト云フ所ノ必要ヲ段々生ジテ來マシタ所ノ理由ヲ一應皆様ニ申上ゲタイト思フ、此法案デハ臘虎臘肭獵トゴザイマスルガ、臘虎ト申シマスルモノハ千島諸島ニマア居リマスノデゴザイマスガ年々減ッテ参リマシテ、是レハ全ク此外國ノ獵船ガ頻々年々參リマスル故ニ次第ニ減リマシテ、今日ハ殆ドモウ臘虎ト申スモノハ極僅々ノコトニナツテ居ル、夫レ故ニ此外國ノ密獵船トカ何トカ申シマスケレドモ今日ハ此外國船ガ臘虎ヲ捕リニ往クト云フコトハ殆ドナイ二艘シカナイ、又本邦人ノ此臘虎獵ヲ企テル者ハ殆ド少イ、臘虎獵ハ將來目的ガナイ、然ル所臘肭ト申シマスルモノハ日本ノ海ニ餘程澤山アル、今日金華山沖杯ニハ非常ニ群集シテ居ル、是レガマア群集シテ居ル所ハ丸デ木ノ葉ヲ散シタ如クニ居ルト云フ譯デアル、此臘肭獵ト申シマスルモノハ夫レ故兩三年此方外國ノ獵船ガ參リマスコトハ實ニ夥シイコトデアル、夫レデ最近此一二年ノ調査申上ゲマスレバ既ニ此二十六年ノ四月カラ七月ノ間ニ函館へ這入リマシタ外國ノ獵船ノ數ト申シマスルモノハ四十六艘這入シタ、四十六艘デ三万八千百三十七枚ト云フ臘肭ノ皮ヲ積ンデ居ル、夫レヲ皆其函館ノ倉ニ上ゲマシタ、夫レガ先ツ廉ク積リマシテ一枚平均十五圓ト見マシテモ六十萬圓カラノモノデアル、其船ハドウ云フ所カラ參タ、タ申シマスルト、英國ノ獵船ガ十八艘ニ亞米利加ノ獵船ガ二十六艘、布哇カラ参リマシタノガ一艘、都合四十六艘ト云フモノガ函館ヘバカリ這入シテ参タ、夫レカラ丁度一昨年本員ガ厚岸マデ参リマシタ、東海岸マデ参リマシタ、厚岸ニハ九艘程參リマシテ其九艘ノ船ニ積ンデ居リマスル皮ト申シマスモノハ八千四百八枚ト云フモノガアル、夫レ故一昨年捕ラレマシタモノモ是レハ廉ク積リマシテモ七十萬圓カラノモノヲ……分シテ居リマスルモノダケデモ其位、外國人ノタメニ捕ラレタ、夫レカラ昨年ハ此二月カラ五月ノ間ニ函館へ這入リマシタ船ガ英吉利ノ船ガ三十五艘、亞米利加ノ船ガ二十二艘、五十七艘ト云フモノガ這入シタ、サウシテ五十七艘ガ皮ヲ積ンデ居リマスルモノガ四万八千枚カラ積ンデ居ル、一昨年ヨリ昨年ノ方ガ船ノ數モ十艘カラ多ウゴザイマス、又皮モ一万枚カラ多イ、夫レデ昨年ハザシト積リマシ

テモ是レモ七十萬圓カラノモノガ捕レテ居ル、斯ノ如ク此年々外國ノ獵船ガ多ク日本ヘ参リマシテサウシテ此捕リマスルコトデゴザンスカラ此分デ参リマシタラバ何レ當年モ又一層多ク參ルダラウト思ヒマス、是レ等ハ實ニ日本國ノ富ヲ外國ヘ持ツテ往カレルモノデアリマス、夫レナラバ今日日本人ニ捕レヌカト云フニ日本人ニモ捕レヌコトハナイデス、ケレドモ日本ニハ禁令ガアル、丁度此仕舞ニイッテアリマスガ此明治十七年ト十九年ノ法律デ此臘虎臘肭ヲ日本人ハ捕ルコトハナラヌ、農商務大臣ノ特許ヲ得タ者デナケレバ捕手ニ來テ此通り年々多ク日本ノ物ヲ持ツテ往キマスガ、日本人ハ如何セム法律ノタメニ捕レヌト云フコトニナル、夫レデ此度ハ是非此禁令ヲ解キマシテ此法案ヲ以テ何人ト雖モ此臘虎臘肭ノ獵獸ヲ願出ル者ハ許可ヲ受ケタ上ニハ出來ルト云フコトニシナケリヤアナラヌ、夫レデ丁度仕舞ニゴザイマス通り十七年ト十九年ノ法律ヲ廢シテ此法律ヲ以テ是レカラ段々誰レニモ捕ルコトヲ許スコトニシナケリヤアナラヌト存ジマス、是レハ即チ本案ヲ出シマシタル所ノ極必要デゴザイマスカラ、ドウゾ皆サンノ十分御贊成ヲ得タインデゴザイマス、

○船越衛君 村田君ニ質問ヲ致シマス、唯今ノ御演説ニ外國人モ往々臘虎及臘肭ヲ捕ルト云フコトヲ御陳述ニナリマシテ、外國人が右獵獸ヲスルコトハ能ク分リマシタガ、此禁獵區及禁獵期ヲ設ケルト云フコトハ是レハ何レ勅令デ出マスガ、委員會デハ凡ソ此禁獵區ハドンナ所ヲ以テスルト云フコトノ御話ガゴザイマシタカ、一體唯今ノ御演説ノ様ニ外國人ガ往々右ノ獵ヲ捕獲スルコトハ少カラヌ、私モ現實金華山沖デ外國船ヲ見受ケタコトモアル、又石ノ巻或ハ荻ノ濱邊ヘハ外國人ガ薪水ヲ取りニ來ルト云ウテ現ニ金華山沖デ捕獲シタト云フコトヲ隨分聞イテ居ル……誠ニ遺憾ノ事デアリマスカラ是レ等ニ附イテ外國船ヲ禁制スルト云フ様ナ御方法ノ御見込ハ委員會デ御談合ニナリマシタコトデゴザイマスカ、其他禁獵區ナドノ御見込ヲ承リタウゴザイマス、

○村田保君 御答致シマス、此禁獵區ノ事ニ附イテハ委員會デモ段々相談ガゴザイマシテ……是レハ尤モ政府委員カラ答辯シテ宜イコトデアルト思ヒマスガ、其時分協議ヲシタダケヲ御話致シマス、此臘肭ト申スモノハ此千島ノ中デ繁殖スル場所ガアルノデ、夫レデ寧ロ「ライコケ」ト「セレドノエ」ト云フ小サナ島ガアル、夫レガ其臘肭ガ其場所バカリニ繁殖シ子ヲ産ム場所ガアル、夫レデ其禁獵區ヲ設ケマスルノニ先ツ其邊ハ最モ此禁獵區ニシテ、例ヘバ何哩ノ中デハ捕ラヌ六十哩以内ハ捕レヌトカ云フ様ナコトヲマア設ケル積リテ、政府ハサウ云フ考デアルト云フコトヲ政府委員カラ承リマシタ、併ナ

ガラ之ヲ差詰メ今設ケルコトハ政府ニ於キマシテモシナイサウデス、追々是レカラドウモ其禁獵區ヲ設ケナケレバナラヌ時期ガ多分到來スルダラウ、其場合ニハ夫レヲ設ケヤウト云フ政府ノ御考ダト云フコトデ委員會デモ評議ヲ致シタノデゴザイマス、夫レデ宜シウゴザイマスカ、○船越衛君　イヤ、モウ一ツ、サウスルト其方ヲ重ニ設ケナケレバ是レハ大シテ效能ハナイト思ヒマス、ソコハドウ云フ御見込デゴザイマスカ、唯之ヲ設ケテ禁獵期ヲ極メテ禁ジタ以上ハドコマデモ取締ヲスル、或ハ外國人ハ始終取締ヲスルト云フコトガナクシテ日本人ノミニ取締ハ斯クマデ御改正ニナッテモ效ガナイ様デアリマスカラソコノ御見込ヲ……○村田保君　取締ガサウナリマシタ以上ハ軍艦拵モ時々出シマシテ、サウシテ取締ヲスル積リデ、現ニ今日ト雖モ軍艦デ取締ヲスルタメニ軍艦ハ夫レトナク……密獵船ヲ取締ルト云フコトハアリマスマイガ監督ノタメニ出テ居ル、既ニ昨年ノ如キハ日清ノ戰爭ガアリマシタカラ中ミ軍艦ヲアチラヘ向ケルコトハ出來マセヌガ、昨年ハ現ニ三艘軍艦ガ出テ居リマス、武藏、磐城、葛城ノ三艘ガ測量旁々一方ニハ取締ヲ帶ビテアレハ出テ居リマス、此後之が出マシタ上ニハ隨分此軍艦ガ出テ無論此取締ヲスルコトト存ジマス、○船越衛君　モウ一ツ伺ヒマス、唯今ノ御話ニ北海道ノ何トカ云フ島ニ重ニ繁殖スルカラ其邊ヲ禁獵區ト致スト云フコトデアリマシタガ、私ハ能クハ知リマセヌガ、此臘肭杯ヲ重ニ捕ルノハ金華山沖デ私ノ聞ク所デハ冬ハ出向イテ丸デ南ノ方ニ往ク、春追々暖カニナルト上々テ來ル、北海道ヘ、夫レヲ皆待伏ヲシテ居ル、上々テ來ルヤツツ金華山沖デ重ニ打ツ、現ニ亞米利加ノ密獵船ガ難船ニ逢ヒマシテばつていらデ三人乗テ居ツタノガ二人リハ死ンデ一人助カツタ、此者ヲバ助ケテ私ハ夫レニ直キニ逢ウテ話ヲ聞イテ見マシタ、併シ密獵ハ彼モ隱シテ餘程金華山ヨリ沖ノ遠方デ捕ルト云フコトヲ申シテ居リマスガ、現實獵師ナドノ言ヲ聞クト金華山ニ近イ所デ捕ル方が多イ、夫レデ獵區ヲ御立テニリマスルニハサウ云フ所ヲ重ニ御禁ジニナラナケレバ一向效能ガナイ、如何様軍艦三艘出デ居ル趣デゴザイマスガ中ミ取締ハ餘程ムヅカシイ様デゴザイマス、夫レデドウカ私希望スルニハ茲マデ改正ニナリマシタ以上ハ日本人バカリヲ取締ランデ外國人モシカカリ取締ランデハ效能ガナイ……○村田保君　唯今仰フシャル通り臘肭ト云フモノハ始終旅ヲシテ居ルモノデスカラ、寒クナレバ北海道ノ方ヘ往キ夫レカラ暖クナレバアチラノ方ニ往キ、大概十二月ニハ房州沖マテ來ル、サウシテ段々暖ニナルト北海道ノ方ヘ旅ヲスル、併ナガラ夫レモ能ク此一兩年前マデハ夫レマデハ臘肭獵ヲスルコトヲ知ラナイ、臘肭其物モ知ラナイ、現ニアスコヲ始終通リマス者ハ金華山沖デ度々

澤山ノ臘肭ヲ見テモ臘肭トハ思ハヌ全ク海豚魚ト思ツタ、水ヲ飛ブモノデアルカラアレハ海豚魚ト思ツテ臘肭ト云フコトハ知ラナカツタ、所ガ外國船ガ續々來テ始メテ臘肭ト云フコトヲ知ツタ、又臘肭ヲ捕ルト云フコトモ今マテハ頓ト知ラナカツタ、或ハ網ヲ張リ捕ツタ、此臘虎臘肭ト一口ニ申シマスガ、臘虎ト臘肭ハ船モ達ヒ又捕ルノニモ鐵砲ガ違フデス、夫レデ漸ク其臘肭ヲ捕ルト云フコトヲ始メマシタノモ一昨年始メテ此帝國水產會社ト云フモノテ設ケテ禁獵期ヲ極メテ禁ジタ以上ハドコマデモ取締ヲスル、或ハ外國人ハ始終取締ヲスルト云フコトガナクシテ日本人ノミニ取締ハ斯クマデ御改正ニナッテモ效ガナイ様デアリマスカラソコノ御見込ヲ……○村田保君　取締ガサウナリマシタ以上ハ軍艦拵モ時々出シマシテ、サウシテ取締ヲスル積リデ、現ニ今日ト雖モ軍艦デ取締ヲスルタメニ軍艦ハ夫レトナク……密獵船ヲ取締ルト云フコトハ先づ私共ノ考デハ禁獵區ト云フモノハ繁殖ヲ計ルタ區トスル杯ト云フコトハ先づ私共ノ考デハ禁獵區ト云フモノハ繁殖ヲ計ルタメノ禁獵區デアリマス、禁獵區ヲ定メルコトハ是レハ其アチラアタリデハ「プリビローフ」ト云フ所杯ハ詰リ繁殖場ダカラ禁獵區ニスルノデ……夫レデ御分リニナリマシタカ、○伯爵小笠原忠忱君　先刻申シテ置キマシタ委員會ノ方ニ……○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)　小笠原伯爵ノ先刻御請求ニナリマシタ時ハ人數ガ足リマセヌデシタガ唯今ハ宜シウゴザイマス、然ル所ガ古物商取締條例ノ改正法律案ニ移リマス時分ニハ御出席ニナラネバナリマセヌ譯デ……御退席ニナッテ宜シウゴザイマス、

(政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君)　此臘虎臘肭獵ニ附キマシテチヨツト申上ゲテ置キタイコトガゴザイマスカラ極簡單ニ申上ゲマス、唯今船越君カラ少シ御尋モゴザイマシタガ、政府ニ於テ此法案ヲ出シマシタノハ今日ノ所デハ差詰取締ノ方ガ目的ニナツテ、日本人ヲイヂメル方ハ第二ニナツテ居ル、詰リ禁獵區ヲ立テ然獵期ヲ定メルト云フコトハ第二ノ事ニナツテ居リマス、現ニ日本人ハ此兩三年内ニ大變捕リタイト云ウテ願出シテ居ルモノガ澤山アリマス、現ニ宮城縣ノ如キデモ願ガアリマシタ位デ、夫レデサウ云フノガアリマスノニ現今ノ規則デハ誠ニドウモ販賣規則杯ノ手續ガムヅカシクナツテ居リマス爲メニ許スコトガ出來ナイ様ナ姿ニナツテ居リマス、夫レヲ甚ダ殘念ニ思ヒマスノデ是レガ第一デゴザイマス、固ヨリ臘肭ノ如キハ數十里沖ニ往來シテ居ルモノデゴザイマシテ、禁獵區ヲ立テマンシタ所デハ領海内ダケヲ禁獵區ト致シマシテモ十分效能ハナイ、又禁獵期ヲ定メルコトモ専ラ大洋ヲ禁獵區トシテ時ヲ定メテ禁ズル様ナコトニシナケレバ十分ノ奏功ヲ得ルコトハ出來ナクナツテ居リマスデゴザイマスカラ、夫レヲ致サウト云フニハ自ラ取締ヲ……外國杯ノ關係モゴザイマスカラ其時ヲ待ツテ始メテ外國ノ人モ之ヲ守ルコトガ出來ル時ニ至ツテ之ヲ行フコトガ出來ル、併シ差詰ノ所ハ人ヲシテ獵ヲセシムルト云フ方針デイデタル方デハゴザイマセヌカラドウカ御了解下サル

コトヲ願ヒマス、

會ヲ開ク……此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

○船越衛君 唯今政府委員カラノ御説明ハ能ク分リマシタガ、私ノ村田君

ニ質問致シマシタノハ必ズ禁ズルノヲ主致シタノデゴザイマセヌ、禁ズ

ルコトニスレバ外國人モ共ニ日本人同様ニ禁ゼラレマス所ノサウ云フ方法ヲ

御議シニナツタコトガアルカト云フノ趣旨デゴザイマス、御分リニナツタ様

デゴザリマスガ、夫レデ獵區ヲ定メラレテ是レハ我々日本ノ獵區ト云フ以上

ハ外國人ハ捕ルコトハ出來ヌ、出來ヌニハ相違ナイガ現ニ前ニ陳述致シマシ

タ様ニ難船ニ逢ウタモノヲ助ケテ遣ツタモノモ居ルノデ、是レハ全ク金華山

近傍デアル、サウ云フ方ハシカリ御取締ニナラスト云フト獵區ヲ日本ノ獵

區トシテモ一向效能ガナイノデ、現ニ御話ガ長クナリマスガ政府委員モ御承

知デモゴザリマセウガ三四年跡ニ英吉利ノ密獵船デゴザイマシタカム

か露西亞ノ領ニ這入ツテ之ヲ露西亞ノ軍艦ガ直グ其船ヲ取押ヘテ鎖テ繫イデ

軍艦ニ……サウスルト能ク繫イデ置イタカラ露西亞ノ軍艦モ安心シテ居ツタ、

サウスルト夜霧ノ深カツタニ乘シテ竊ニ繫ガレタ鎖ヲ斷ツテ密獵船ガ逸ゲタ、

夫レヲ露西亞ノ軍艦ガ知ツテ翌朝其跡ヲ追ウテ遂ニ横濱マデ來ル……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 船越君ノハ御質問デハゴザイマセヌカ、

○船越衛君 サウ云フ様ナコトガ他ノ國ニハアルカラ日本デモスッカリ御

取締ヲ願ヒタイ、夫レデ其例ヲ舉グルノデス、既ニ英吉利ノ密獵船ガ露西亞

ニ行ツテ露西亞ノ軍艦ニ認メラレテ横濱マデ追ハレテ來タ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) サウスルト御意見ヲ御述ニナツテ居ルト認メ

テ宜シウゴザリマスカ、

〔夫レデハ演壇ニト述ブル者アリ〕

○船越衛君 左様……サウ云フコトガアルト云フ……希望ヲ述ブルノデ、

成ルベク密獵船ノ取締ハ嚴ニシテ貫ヒタイト云フコトノ例ヲ引イテ御話ヲス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リ

マス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、

○男爵小澤武雄君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、

○子爵小笠原壽長君 賛成、

○長谷川貞雄君 小澤男爵ニ賛成、

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 小澤男爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀

會ヲ開ク……此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、是レハ第一條第二條第

三條ヲ先ツ問題ニ供シマス、朗讀ハ省キマス、

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ)

臘虎臘肭獸獵法

第一條 臘虎臘肭獸ヲ獵獲セントスル者ハ農商務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

第二條 臘虎臘肭獸保護ノ爲メ勅令ヲ以テ禁獵區及禁獵期ヲ設ケ獵船、獵

具、獵法ヲ制限シ牝牡、年齡ニ依リ其ノ獵獲ヲ禁止スルコトヲ得

第三條 軍艦艦長、警察官吏、稅關官吏其ノ他特ニ命令ヲ受ケタル官吏ハ勅

令ノ定ムル所ニ依リ臘虎臘肭獸獵船、獵具及獵獲物ノ検査ヲ行ヒ犯則者

ト認ムヘキ者及船員ヲ抑留シ獵船、船具、獵具、船籍證書及獵獲物ヲ差押

フルコトヲ得

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第一條第二條第三條、原案ヲ可トスル諸君ノ

起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス次ニ第四條第五條第六條

ヲ問題ニ供シマス、

第四條 禁獵區内又ハ禁獵期間ニ於テ臘虎臘肭獸ノ獵獲ヲ爲シタル者ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮又ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ何人ノ

所有ヲ問ハス獵船、船具、獵具及一切ノ獵獲物ヲ沒收ス

第五條 獵船、獵具、獵法ノ制限及牝牡、年齡ニ依レル獵獲ノ禁止ニ違背シ

又ハ獵船、獵具及獵獲物ノ檢查規則ニ違背シタル者ハ二圓以上

下ノ重禁錮又ハ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 第一條ノ免許ヲ受ケシテ臘虎臘肭獸ヲ獵獲シタル者ハ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ニ處シ獵獲物ヲ沒收ス

(特別委員修正案)

第四條 禁獵區内又ハ禁獵期間ニ於テ臘虎臘肭獸ノ獵獲ヲ爲シタル者ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮又ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ何人ノ

所有ヲ問ハス獵船、船具、獵具及一切ノ獵獲物ヲ沒收ス

第五條 獵船、獵具、獵法ノ制限及牝牡、年齡ニ依レル獵獲ノ禁止ニ違背シ

又ハ獵船、獵具及獵獲物ノ檢查規則ニ違背シタル者ハ二

月以上一年以下ノ重禁錮又ハ二十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 第一條ノ免許ヲ受ケシテ臘虎臘肭獸ヲ獵獲シタル者ハ二圓以上

- 二、五十圓以下ノ罰金ニ處シ獵獲物ヲ沒收ス
○子爵酒井忠彰君 チヨット唯今ハ四條カラ六條マデノ逐條デスカ、是レ
ガ即チ其委員ノ報告ノ修正通リノ方ノ決ニナリマスノデスカ、チヨット伺ヒマ
ス、
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 夫レハ、イツデモ兩方決ヲ採ルノデ、委員ノ
修正ガ消エバ原案ヲ採ルノデス、第四條第五條第六條、委員ノ修正ヲ可ト
スル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、
- 起立者 多數
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、次ニ第七條ヲ問題ニ供
シマス、
- 第七條 第四條第六條ニ依リ沒收セラルヘキ獵獲物ヲ既ニ販賣シタルトキ
ハ其ノ代價ヲ追徵ス
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第七條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス、
- 起立者 少數
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、第八條ヲ問題ニ供シマ
ス、即チ原案ノ第八條デゴザリマス、
- 第八條 此ノ法律ハ刑法第四十三條及第四十四條ノ適用ヲ妨ケス
(特別委員修正案)
- 第八條 此ノ法律ハ刑法第四、四十三條及第四十四條ノ適用ヲ妨ケス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第八條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス、
- 起立者 少數
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザイマス、即チ是レハ削除ニ決シマ
ス、次ニ原案ノ第九條修正ノ第八條ヲ問題ニ供シマス、
- 第九條 此ノ法律ハ明治二十九年一月一日ヨリ施行ス
- 明治十七年布告第十六號及明治十九年勅令第八十號ハ此ノ法律施行ノ日
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、
ヨリ廢止ス
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、第二讀會ハ是レデ終リ
マシタ、
- 男爵小澤武雄君 議事日程ヲ變更シテ直キニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ
望ミマス、

- 子爵小笠原壽長君 賛成、
- 村田保君 賛成、
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小澤男爵ノ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會
ヲ開クベシトスルニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、
- 起立者 多數
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、直ニ第三讀會ヲ開キマ
ス、朗讀ハ省キマス、第二讀會ノ決議案即チ原案ヲ可トスル諸君ノ起立
ヲ請ヒマス、
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザリマス、次ニ刑法附則中改正法
律案、衆議院提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、
- 起立者 多數
- 箕作麟祥君 (箕作麟祥君演壇ニ登ル)
刑法附則中改正法律案特別委員會ノ結果ヲ御報道ニ及ビマ
ス、御承知ノ通り刑法附則ハ明治二十三年法律第二百二號ヲ以テ一部分ハ改正
ニ相成リマシタモノデゴザリマス、其改正前ニ當リマシテハ證人鑑定人等
ノ日當旅費止宿料ハ、日當ハ五十錢以下、旅費ハ一里十錢以下、止宿料ハ一
宿二十五錢以下ト申ス様ニ最上限ガ極メテアリマシテ、其五十錢以下十錢以
下デアリサヘスレバ幾ラト極リガナカツタノデアリマス、然ル所ガ唯今申上
ゲタ明治二十三年ノ法律第二百二號ヲ以チマシテ證人ノ日當ハ出頭一度ニ付五十
錢トス、夫レカラ醫師鑑定人通辯人翻譯人ノ日當ハ出頭一度ニ付五十
錢トス、乃至五圓ノ範圍内ニ於テ裁判所デ定メル、夫レカラ旅費ノ方ハ海陸満一里每
ニ金十錢トス、斯ノ如ク改ツタノデアリマスカラ、詰リ以前ハ五十錢以下ト
カ十錢以下ト云フノデ最上限ヲ極メテアリマシタノガ、改正ノタメニ五十錢
トカ十錢トカチャント一定ノ額ニナツテ仕舞ツタノデアリマス、所デ此證人ノ
日當五十錢或ハ旅費十錢ト申スコトハ我邦今日ノ有様デ見マスルト少シ是レ
ハ度ニ過ギタル様ナ感觸ガアリマスル、田舎ノ百姓トカ或ハ其他ノ下等社會
ノ者ニ至リマシテハ終日稼ギマシテモ中々五十錢ノ稼ギマスコトハム
ヅカシイノデアリマス、然ルニ是レガ刑事ノ證人ト爲リマシテ裁判所ヘ出マ
スルト云フト僅カ一時間カ半時間ノ證言ヲ致スタメニ忽ニ一日五十錢ト極ツ
タ一定ノ額ヲ受ケルコトニナリマストドウモ是レデハ多ウ過ギル、又旅費ニ
附キテハ所謂草鞋穿キ出テ參ルノニ必ズ一里ニ付キ十錢ノ旅費ヲ取ルト云
フコトモ是レ亦過當デアラウト考ヘラレマス、却ツテ明治二十三年以前ノ法律

ノ方ガ適當デアラウカト考ヘル譯デアリマス、尤モ明治二十三年ニ改正ヲセラレタルノハ民事ノ方ノ訴訟費用ガ改リマシタタメニ其結果トシテ刑事ノ方ニモ自ラスノ如キ變更ヲ及ボシタコトデアリマセウケレドモ、唯今述ベマス通リドウモ一十三年ノ改正ハ却ツテ今日カラ考ヘルト些ト金額ガ多ウ過ギテ宣クナカツタカト思フノデス、夫レ故ニ此衆議院ノ改正案ハ宜シキヲ得タルモノト思フノデアリマス、夫レカラ此度ノ此衆議院ノ提出案ニナリマスト云フト二十錢乃至五十錢、或ハ五錢乃至十錢ト云フ風ニ日當旅費ハ皆最上限最下限ガ舉フテ居リマシテ、其範圍内ニ於テ裁判所ガ適宜ニ極メルト云フコトニナツテ居リマス、サウナリマスト云フト甚ダ都合ガ好ク相成リマシテ、例ヘバ醫師トカ鑑定人トカ申スルモノハ即チ裁判所ガ其醫師ナリ鑑定人ナリ喚出サル、人ガ或ハ學識等ニ因リマシテ多額ノ日當ヲ異フル者モゴザイマセウ、併ナガラ證人ト云フモノニ至リマシテハ其人ニ依ツテ日當ヲ違ヘルト云フ譯ニモ參リマスマイカラ、例ヘバ紳士ノ様ナ人ガ證人ニナリマシテモ或ハ極下等社會ノ人ガ證人ニナリマシテモ是レハ一定ノ標準デ旅費日當ヲ給スルモノニアリマスガ、醫師鑑定人等ト通常ノ證人トデハ自ラ趣ヲ異ニスルデアラウト思ヒマス、夫レデ此衆議院ノ案ガ本院ヲ經過シマシテ愈々施行ニナリマシテ上ハ何レ此裁判所ガ其地方地方デ幾許カト云フ標準ヲ定メマシテ、二十錢乃至五十錢ト云フモノデアリマスカラ其内デ或ル地方ハ三十錢ガ宜イトカ、或ル地方ハ二十錢デ宜イトカ、或ル地方ハ五十錢デ宜イトカ、其範圍内ニ於テ地方ノ情況ヲ以テ裁判所ガ定メルデアラウト考ヘマス、此衆議院ノ案ハ法律第百二號ヲ改正スルノデハアリマスルケレドモ是レハ隨分必要已ムヲ得ザル改正デアリマシテ、今日ノ儘デ置キマスト云フト國庫ノ負擔ガズンズン増シテ參ル、此刑事ノ證人鑑定人等ノ費用ハ隨分コノ毎年豫算ニ出マスルガ、司法省ノ部ノ豫算ニ出マスルガ、段々年々上ツテ參ル譯、此裁判費ト申スモノガ、政府委員カラ承リマスト、明治二十五年度ニハ十万圓以上、二十六年度ニハ十二萬圓以上、二十七年度ニハ十九萬圓以上ト斯ウ上ツテ參リマス、最モ是レハ證人鑑定人ノコトバカリデハゴザイマセヌ、外ノ物ノ分モ這入ッテ居リマスルガ、併シ最大ナル部分ハ證人鑑定人等ノ旅費日當ヲ國庫デ負擔スルモノデアル、現行法ノ儘デ五十錢トカ二十錢トカ一定ニ決メテ置キマスト、前申ス通り過分ノモノヲ與フル譯デアリマシテ、國庫ノ負擔ガ多クナッテ入ラヌモノニ國庫ノ負擔ヲ重クスルト云フコトニナリマスカラ、此改正案ノ通りニナリマスト不當ノモノヲ給與スルト云フコトガナクシテ、又國庫ノ負擔モ輕クナルト云フ利益ガアリマスカラ、是レハ隨分已ムヲ得ザル修正デアルト云フ考ヲ以チマシテ、即チ特別委員會ニ於キマシテ全會一致ヲ以テ可決シマシタ譯デアリマス、又政府委員ニ於キマシテモ此改正案ハ徹頭徹尾同

意ト云フコトデアリマス、尙ホ附加ヘテ申置キタイノハ此刑法附則ヲ斯ノ如ク修正致スノハ前述ベマシタ通り適當ト考ヘマスルガ、此通リニ改正ヲ致シマスト民事訴訟ノ方ノ費用トハ些ト權衡ヲ失フコトニナリマス、民事訴訟デハ矢張リ證人ガ現行法デ日當五十錢旅費十錢トスル一定ニナツテ居リマスカラ、刑事ノ方ヲ此案デ二十錢以上五十錢以下、五錢以上十錢以下ト云フ様ニシマスルナラバ民事ノ方モ矢張リ權衡ヲ得セシムルタメニ同様ニ修正ヲ致シタイト云フ考デアル、所デ此刑法附則改正案ガ貴族院ヲ經過シテ政府モ同意ト云フコトデアリマスカラ無論是レガ實施ニナルデアリマセウガ、サウナツタ上デ唯今ノ權衡ヲ取ルタメニ政府ニ於テ民事ノ方ノ訴訟費用ヲ此刑法附則ノ改正案ト同様ニ改正ヲスルヤ否ヤト云フコトヲ政府委員ニ伺ヒマシタ、所ガ政府委員ハ曰ク夫レハ刑事ノ方ガ斯ウ修正ニナツタ所ガ何モ民事ノ方モ之ニ合セテ修正セヌナラスト云フコトハアリマセヌ、片跋デモ實施ノ出來ヌコトハナイト云フ答デアリマシタ、夫レハ片跋デモ實施ノ出來ヌト云フコトハアリマスマイケレドモ自ラ物ニハ權衡ト云フコトガアリマシテ、刑事ノ方デ五十錢デハ多過ギルト云フナラバ民事ノ方デモ五十錢ハ多過ギルカラ、是レハ是非合セテ御改正ニナル様ニ尙ホ政府委員ニ御勘考ヲ願ヒタイト云フコトヲ委員會ニ於テ申シテ置キマシタレバ、尙ホ篤ト考ヘテ置イテ是レハ改正スルガ宜イト見タナラバ民事ノ修正案ハ次第ニ依ツテハ政府カラ提出スルカモ知レヌトスウ云フ御答デアリマシタカラ、本員等ハ夫レデ満足シテ居ツタ譯デアリマスカラ、諸君モ願ハクハ此案ニハ御同意アラムコトヲ希望致シマス、
○三宅秀君 チヨツト箕作君ニ質問致シマスガ、唯今御述ニナリマシタ第四十九條ノ乙丙丁マデハ分リマシタガ、第五十條ノコトニ附キマシテハ格別御説明ガナイ様デゴザイマスガ、是レハドウニ云フ理由テ衆議院デ提出シタカ、改正ヲ要スルト云フ理由ハドウ云フ譯デ即チ委員會ニ於テハドウ云フ理由デトテアリマスカラ、之ヲ御贊成ニナリマシタカ伺ヒマス、
○箕作麟祥君 ツイ五十條ノコトヲ述ベヤウト存ジマシタガ、唯一條ノコトデアリマスカラ格別ノコトデモアルマイト存ジマシテ落シマシテゴザイマスガ、五十條ハ是レハ日當旅費止宿料ノ請求期限ヲ設ケタ條デアリマスルガ、是レモ宜カラウト考ヘルノデゴザイマス、唯今ノ現行法デハ五十條ニハ唯證人ノ日當旅費及止宿料ハ本人ノ請求アルニアラザレバ之ヲ給スルコトヲ得ズト云フコトガアリマスダケデ期限ガ一向決メテナイノデアリマス、期限ガアリマセヌトモウ公判モ何モ濟シテ仕舞ヒマシテ、例ヘバ二年ナリ三年ナリノ後ニ思出シテ此旅費日當等ヲ請求スル者ガ間々有ル趣デアリマス、稀デハアルトシマシテ、然ルニ御承知ノ通リ國庫ノ義務ハ五年ヲ以テ期

満免除ナルト云フコトガ會計法ノ規則デアリマスルカラ、詰リ此證人鑑定人ノ旅費日當等ハ國庫ノ負擔デアリマスルカラ、五年以内ナラバ國庫ガ是非之ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ義務ガ有ル、叔其五年以内ニ拂フト云フコトニナリマストソノ過年度支出トカ何トカ會計上デハ隨分面倒ナ手續ガ入りマス、面倒デモ仕方ガアリマセヌケレドモ、サウツノ三年モ五年モ時立ッテカスノ如キモノヲ支給致シマセヌデモ、其豫審ナラバ豫審ノ濟ム前、公判ナラバ公判ノ濟ム前ニ之ヲ請求スルコトニ致シマシテモ一向差支ガナイ、サウ致シマスルト云フト會計上ノ不便ハナクナツテ、ソンナラヌト云ツテ證人鑑定人ノ權利ハ少シモ害スルコトガナイ、是レハソノ五十條ノ改正ノ通りニナリマスト豫審ノ終結トカ公判ノ判決トカ云フコトハ其裁判所デ致スモノデアルカラ、證人鑑定人ニハ何時終結ニナルカ分ラヌト云フ恐ガアルデハナイカト云フ疑モアルカハ知リマセヌガ實際サウデナイ、今日實際ドウシテ居ルカト云フト證人ナリ鑑定人ナリ出頭シマスルト自分デ心得テ居る者ナラバ出テ參ルト直グニ旅費幾ラ日當幾ラト請求致シマス、所ガ田舎者ナドニナリマストサウ明白ニ心得テ居る者ハアリマセヌガ、夫レニハ各裁判所ニ代書人ト云フモノガアリマシテ證人鑑定人ガ出テ來ルノヲ見掛ケルト直グニ御前サン今日出頭ニナツタラバ旅費幾ラ日當幾ラ請取ラナケレバイケヌトチャント抜目ナク直グニ氣ヲ付ケル、若シ夫レガナクトモ代言人ハ必ズ附イテ居ルカラコトデ此五十條モ適當ナ修正ト考ヘマシテ贊成致シタ次第アリマス、

○男爵伊達宗敦君 唯今御述ニナツタ中デ刑事ト民事ト片跋デ不釣合デア

ルカラドウカ民事ノ方モ同一ニナル様ニシタイト云フコトヲ政府委員ニ御求

ニナツタ所ガ政府委員ガ御答ニナツタ云フコトヲ聞落シマシタガドウ云フ

ドウモ満足デモゴザイマセヌガ仕方ガナイノデアリマス、未來ノ事デアリマスカラ政府委員ニ是非出セト攻付ケルコトモ出來ナイ、夫レハ特別委員ノ力ニハ及ばセヌ、尙ホ何ゾ政府委員ニ強テ言フト云フ御考ガアリマシタラバ御講究ヲ願ヒタイ、

○政府委員(清浦奎吾君) チヨット念ノタメ一言シテ置キマスガ、唯今委員

長カラ申サレマシタ通リノ次第デゴザイマスガ、片跋デモ實施ノ出來ヌコトハナイト云フハ理窟ナシニ片跋デ歩カレヌコトハナイト云フ譯デハナイ、即チ刑事ノ證人ト民事ノ證人トハ證人ノ性質ニ於テ違フ所ガアル、又第二ニハ即チ此費用ノ出所ト云フモノガ一ハ民事訴訟人即チ當事者ノ負擔、一ハ國庫ノ負擔トスウ云フ區別ガアルタメニ、必シモ刑事ノ證人ノ旅費日當ト民事ノ證人ノ旅費日當ト一緒ニシナケレバナラヌト云フコトモアルマイ思フ、去ナガラ成ルベク一定ニナリタイト云フ御希望デアルナラバ其點ハ篤ト講究ヲ致サウトスウ云フ次第アリマス、必ズソノ不理窟デモ何デモ片跋デ歩カレヌコトハナイト云フ儀デハゴザイマセヌカラ念ノタメニ一言申上ゲマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、

本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、

○侯爵佐竹義生君 贊成、

○子爵本多實方君 贊成、

○山田卓介君 贊成、

○周布公平君 贊成、

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、

○侯爵佐竹義生君 贊成、

○子爵本多實方君 贊成、

○山田卓介君 贊成、

○男爵金子有卿君 贊成、

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 箕作君ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ガ出マシタ、箕作君ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 箕作君ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會

ヲ開クト云フ動議ガ出マシタ、箕作君ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、議事日程ヲ變更シテ直

ニ第二讀會ヲ開キマス、是レハ一ノ修正モナイノデゴザイマスカラ全部ヲ問

題ト致シマス、朗讀ハ省キマス、

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

刑法附則第四十九條同條乙丙丁及第五十條ヲ左ノ如ク改正ス

第十九條 證人ノ日當ハ出頭一度ニ付金貳拾錢乃至金五拾錢ノ範圍内ニ

(男爵伊達宗敦君) カモ知ラヌト云フコトニ御満足ニナツタノデアリ

マスカト述ブ

於テ豫審判事又ハ裁判所之ヲ定ム但シ止宿料ヲ給與スル場合ニ於テハ日當ヲ給與セス

第四十九條乙 醫師、鑑定人、通辯人、翻譯人ノ日當ハ出頭一度ニ付金參拾錢乃至金五圓ノ範圍内ニ於テ豫審判事又ハ裁判所之ヲ定ム

第四十九條丙 證人、醫師、鑑定人、通辯人、翻譯人ノ旅費ハ海陸路滿一里ニ付金五錢乃至金拾錢ノ範圍内ニ於テ豫審判事又ハ裁判所之ヲ定ム但シ通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

第四十九條丁 證人、醫師、鑑定人、通辯人、翻譯人ノ止宿料ハ一日ニ付金貳拾錢乃至金五拾錢ノ範圍内ニ於テ豫審判事又ハ裁判所之ヲ定ム但シ満八里以上ノ地ヨリ來リ滯在スルトキニ非サレハ之ヲ給與セス

第五十條 證人、醫師、鑑定人、通辯人、翻譯人ノ旅費及止宿料ハ豫審ニ於テハ其ノ終結前公判ニ於テハ其ノ判決前ニ本人ヨリ請求スルニ非サレハ之ヲ給與セス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 緒イテ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、

○周布公平君 贊成、

○子爵松平信正君 贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 緒イテ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、

○周布公平君 贊成、

○子爵松平信正君 起立者

多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、直ニ第三讀會ヲ開クト云
ス、朗讀ハ省略ヲ致シマス、……原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、次ニ古物商取締法案、衆
議院提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

起立者

多數

○伯爵小笠原忠忱君 演壇ニ登ル
(伯爵小笠原忠忱君) 委員會ノ經過ヲ御報告ニ及ビマス、此法案ハ現行條
例ニ比シマスルト、取締上餘程寛ニナクテ居リマシテ、是レマデハ管轄外ニ
於テ營業又ハ賣買ヲ爲シ能ハザル様ナリ居リマスノヲ、免許ヲ受ケサヘスレ
バ出來マスルコトニナリマシタ、古物商ニ取リマシテ、現今ヨリハ餘程便利
ニナリマシタト存ジマス、夫レカラ現行條例ニ於テ明文ナキタメニ取締ヲ便

ニスルタメ傳染病ニ關スル條モ設ケアリマシテ、此他餘程現今ノ時勢ニ適ス
ル様ニナリ居リマス、依ツテ委員會デハ可決スベキモノト決シマシタ、尙ホ
委細ハ政府委員ヨリモ述ベラレマスルデゴザイマセウ、又御質問ニ對シマシ
テハ本員又ハ他ノ委員諸君ヨリ御答ニ及ビマス、

○清浦奎吾君 本案ニ對シマシテハ段々質問ヲシタイ箇條モゴザイマスカ、
又意見モ申述べタイデゴザイマスガ、休憩ニナリマスデゴザイマスカ、尙ホ
テアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御質問ニナツテ宜シウゴザイマス、必シモ委員
長ニハ限リマセヌ、第二條ニ於テ「此行政廳ノ免許ヲ受クヘシ」トアリマス
ガ、行政廳ト申シマスレバ内務省モ行政廳地方廳モ警視廳モ行政廳、モ一ツ
下レバ郡役所ノ如キモ行政廳デアル、何レ此趣意ハ地方廳ト云フ意味デアラ
ウト思フ、然ルニ東京ノ如キハ警視廳モアレバ東京府廳モアル、ドチラニ持ツ
テ往ツテ宜シイモノデアルカ、現行法ノ第二條ニハ管轄廳ハ東京ハ警視廳、
斯ウ明ニ書イテアルガ、單ニ行政廳ノ免許ヲ受クベシト書イテアリマスガ、是
レハ何ヲ指スカト云フノガ是レガ第一問、第二ニハ第八條ノ二項デゴザイマ
スガ「前項ノ物品ニシテ警察官ニ於テ未タ消毒セサルモノト認ムルトキハ直
ニ消毒法ヲ施サシム其命ニ從ハサルトキハ之ヲ官沒ス」トスウアル、命ニ從
ハヌノミデ官沒スルト云フコトハ隨分ヒドイ處分ト思フノデゴザイマス、而
シテ第十三條ヲ見マスルト、モウ一つ同ジ様ナコトガ出テ居ル、即チ傳染病
污染ノ物品アリト認ムルトキハ何時タリトモ物品及帳簿ノ検査ヲ爲シ時宜ニ
依リ其物品ヲ差押ヘルト云フコトガアル、是レハ矢張リ物品ノ差押ヲシテ相
當ノ消毒法ヲ施シタ後ニ本人ニ還付スルガ相當デ、官沒スル取上げテ仕舞フ
ト云フハ是レハヒドイ様デゴザイマスガ、第八條ノ二項ト又十三條ノ趣意ト
ハ抵觸シナイノデアルカト云フ是レガ第二ノ疑問、夫レカラ第十二條ニ「物
品ノ賣買交換ヲ記載シタル帳簿ヲ廢棄セムトスルトキハ警察官ノ許可ヲ受ク
ヘシ」トアル、是レハ現行法ニハ憲カ保存期限ヲ十年ト定メアツタ思フ、十
年ト定メマシタ所以ノモノハ重罪ニ就イテノ訴ノ期滿免除ハ十年デゴザイマ
ス、即チ此規則ニ違犯シタル犯罪ノ訴ノタメニ重罪ニ就イテノ期滿免除ノ最
上限ガ即チ十年ト云フコトヲ見テ十年間ハ其帳面ト云フモノハ治罪上ノ證據
ニナルモノダト云フ精神デ設ケラレテアツタ、然ルニ今度ハ警察官ノ許可ヲ
受クベシトアツテ期限ノ定メヤウガナイカラシテ、警察官ノ目分量一ツデ二
十年モ取ツテ置ケト云フ、又警察官ノ目分量デ以テ二年ヤ一年デ以テ其帳面
ハ廢棄シテモ宜シイト云フコトニナルト刑事上ノ證據ヲ失フト云フコトニナ
ル、然ルヲ現行法デ十年ト規定シタノハ十年ノ期滿免除ヲ慮ツテシタノデア
ル、其期限ヲ丸デ取ツテ除ケテ警察官ノ目分量ニミ任カシタト云フノハ是

レハ如何ナル理由デアルカ、マダ段々ゴザイマスガ少シ長ウゴザイマスカラ、之ヲ一段落トシテ御答ヲ願ヒマス、
○政府委員(都筑馨六君) 一番先キノ御問ノ此行政廳ト云フ文字ヲ使ヒマ
シタ理由ハニツアリマス、ト申シマスモノハ是レマデノ古物商取締條例、斯ウ云フ條例ノ如キハ皆命令デシテ居ツタノデアリマス、其警察令ノ如キハ大體命令デシテ居ツタノデゴザリマス、然ルニ今度之ヲ法律ニ致シマスコトニナリマスト、官制デ規定スベキ事柄ハ成ルベク此命令ノ方ニ讓ツテ置キマセヌト、官制ヲ改メルトキニ差支ヲ生ジマス、地方長官ト書イテ居ツテモ或ハ其地方長官ト云フ名稱ガナクナックラ、或ハ官制デ警察署長ニ委任スルト云フコトナドガアリマズノニ、隨分其法律デピックリ極ツテ居リマスト法律ヲ官制デ動サレヌト云フ様ナ不便モ往々來シタコトガアリマス、現ニ鐵道廳が遞信省ニ屬シタニ拘ラズ私設鐵道條例ニ關スル訴願ハ内務大臣ガ之ヲ法律ヲ以テヤラナケレバナラヌト云フ様ナ結果ヲ來シタノデ、官制デ規定スベキコトハ成ルベク官制ノ方ニ讓リタイト云フノガーツノ理由、夫レカラ又一ノ行政廳トピックリ極メテ置キマスト却ツテ當業者ノタメニ大變不便ヲ來スコトガアル、小笠原島ダトカ云フ離レタ島ハ必シモ此本廳マデ許可ヲ經ニ出テ來ナケレバナラヌト隨分不便デアリマスカラ、其邊ノ所ハ命令ニ讓ツク方ガ當業者ノタメニ便利ナリ行政官ノ方ニモ便利デ、且又行政廳ト云フコトハ憲法ニモ使ツテ居ル文字デ、法律ニ書クトキドノ行政長官ガドツ云フ職權ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、成ルタケ法律ニハ行政官ガ職權ヲ持ツテ居ルト云フコトダケヲ書イテ、ドノ行政官ガドコドウ云フ手續デ其職權ヲ施行スルト云フコトハ官制ニ讓ツク方ガ便利デモアリ且ツ穩デアル、ト云フコトデ行政廳ト云フ文字ヲ用ヒタノデアリマス、夫レカラ第八條ノコトハドウモ傳染病ニ汚染シテ居リマスモノヲ消毒スレバ宜シウゴザイマスケレドモ、消毒ヲセイト命令ヲ下シタニ拘ラズ、或ハ其命令ヲ遵奉スルコトヲ怠ルト云フ様ナコトガアリマシテハ隨分此公衆ノタメニ危険デアリマスカラ、虎列刺病者ガ使ツタ縮緬ノ蒲團ヲ胡魔化シテ持ツテ往ツテ、夫レヲ警察官ガ消毒ガ十分シテナイカラモウ少シヤレイト云フ命令ヲ下シタニ拘ラズ其儘抛ツテ置クト云フ様ナコトガアリマシテハ實ニ公衆衛生ノタメニ宜シクナイ、十分消毒セザル以上ハサウ云フ物ハ燒棄テヌナラヌモモ澤山アリマセウ、併ナガラ破棄ト云ウテモ當候ルヤラドウヤラ燒棄テンデモ打壊ハセバ宜シイ物モアリマセウ、免ニ角燒棄テルコトモ出來ルシ如何様ニモ出來マセウ、其儘遵奉スルデアラウカ、ドウデアラウカト云フ疑ノアルニモ拘ラズ其當業者ノ手ニ遺シテ置クト云フコトハ隨分危險デアリマス、ソコデ官沒スルト云フコトニ致シマシタ、ソコデ十二條ノ方ハ物品ヲ差押ヘルノハ主トシテ此犯罪ノ嫌疑アル物品ニ

係ツテ居リマセウト思ヒマス、去ナガラ傳染病ニ汚染シタ品物ト認メマスレバ矢張リ 場合ニ依ツテハ差押ヘル必要モアリマセウ、警察官ガ八條デ命令ヲ下シテ其命令ヲ遵奉シタル後テナケレバ其蒲團ガ他ニ轉々スル恐ガアルカ人ニ依リ、必シモ取ツテ置カナケレバナラヌト云フ場合バカリデハアリマスマイト思ヒマス、田舎デ犯罪ノ實ニ稀ニ十年ニ一遍出ル二十年ニ一遍出ルト云フ様ナ所デモ矢張リ公ノ證據ノタメニ保存シテ置カナケレバナラヌト云フハ其當業者ニ對シテ或ハ酷ニ失スル恐ガアリハシナイカト云フ疑ガアリマス、去トテ又隨分交通頻繁ノ所デアツテ見マスルト、一年ヤ二年デハ或ハ證據ガ埋滅ト云フコトノ恐モアリマス、其邊ハ行政官ノ手心デ往クヨリ外仕方ハアリマセヌ、併ナガラ二十年モ保存シテ置ケト云フモ刑法ノ方ニ必要ガナクナックタノニ置クト云フコトハ行政官ノ必要ノナイノニサウ云フ無理ヲ言フ譯ハアリマスマイ、又サウ云フ無理ガアリマスレバ、必ズ中央行政廳カラ訓令シテ……命令シテサウ云フ弊ハ矯メサセルデアラウト思ヒマス、尤モ此商法ガ行レマスレバ商法ノ規定ハ矢張リ古物商ニモ適用スルデアラウト思ヒマス、
○清浦奎吾君 尚ホ續イテ問ヒマスガ、此第十四條ニ於キマシテ法律命令ニ違犯シ行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ其營業ヲ禁止若クハ停止スル、是レハ其現行法ニ一年内再犯ト云フ規程ガアルノデ、其規程ヲ省イテ仕舞ツテ詰リ法律命令ニ些トデモ違犯スレバ禁止若クハ停止スルト云フコトハ隨分目分量ツツデ往ク話デアリマスガ、是レハ性質ニ依ツテ斯ウシナケレバ餘程差支ヘルト云フ廉デアリマセウカ、夫レヲチヨツト御尋致シマス、夫レカラモウツツデスガ沖繩縣ヲ除クトアリマスガ是レハ成ル程沖繩縣トカ北海道トカ云フモノハ多ク取除ケラレテ居リマスガ、成ル程風俗人情ノ違ツテ居ル所デ自治制度其他ノ法律ナラバ取除ケルト云フコトハ固ヨリアラウト思ヒマスガ、併ナガラ此法律ノ如キハ取締法デアルカラアーユ所ヲ取ツテ除ケマシタナラバ丁度是レマデノ實際ニ於テ居留地デ支那人ガ贓物故買ノ巣窟ト爲ツテ居ル様ニ、若シモ沖繩縣ヲ取除ケマシタナラバ内地ニ於テ取締法ノ行レルタメニ賣捌惡クイ物ハアーユ所ヘ持ツテ往ツテドンドンヤル、サウシテ其所ヲ巣窟トシテ向ケル様ナ弊ガ生ジテ來ハシナイカト云フ虞ハアリマセヌカ、其邊ハドウ云フ御見込デアリマスカ、其内ニ二度背イタトキニハ停止スルト云フコトニナツテ居リマスルガ、是レハドウモ如何デアリマセウカト思ヒマスノデ、現行法ニ規程ガゴザイマスルノ

○政府委員(都筑馨六君) 十四條ハ仰ノ通り現行法ニ此法律命令ニ一年以

ハ此法律ニハ届書トカ或ハ入ラヌ手續モ規程シテアリマス、其手續フ一年ニ二度犯シテモ必シモ其營業ヲ止メル必要ハナイ場合ガ幾ラモアラウト思フ、又單ニ一方ニ刑法ノ大犯罪デモ犯シテ居ラテ、是レハ唯一度デアルカラ止メラレヌ、且ツ此法律ヲ犯シタモノデナイカラ止メラレヌト云フノモ如何デアリマセウカ、營業ト云フモノハ既往ノ事實ニ於テ將來斯ウ云フ人ニ營業ヲサセテ置イテハ法律ヲ潜シテ贓物ヲ取扱フ虞ガアル、或ハ又犯罪ノ跡ヲ暗マス虞ガアルト云フ様ナ事柄ハ必シモ此法律ノ小サイ箇條ヲ一度犯シタ一度犯シタト云フニ依ツテ認定ノ附クベキモノデモナシ、又此法律デナクテモ他ノ法律ヲ犯シテモ其犯シタ度合ニ依ツテハ矢張リ一度デモ停止スル必要ガ出テ來ヤウト思ヒマスカラ、夫レデ是レハ法律命令ト汎クシテ置イテ、犯シタラバ直ニヤルカト云フト矢張リ將來此人ニ斯ウ云フ事ヲ任シテ營業ヲサシテ置イテハナラヌ、此人ニ斯ウ云フ營業ヲ任シテ置イテハ弊ガアルト云フコトヲ行政廳デ認メタトキニダケヤルト云フ所デ之ヲ改メマシタ、夫レカラ沖繩縣ノ方ハ仰ノ如キ虞ハアリマスマイト思ヒマス、ト申スノハ隨分運輸モ不便デアリマスルシ、彼所ヘ殊更ニ此法律ノ規程ヲ潜ルガタメニ運賃ヲ掛ケテ品物ヲ持ツテ往ツテ取引ヲスルト云フコトハ述モ今日ノ場合ニ於テアリマスマイト思ヒマスシ、又他ノ一方ニ於テハ沖繩縣ノ如キハ土地ニ附イテスラ人民ガ確然タル所有權ヲ持ツテ居ラヌト云フ位ノ土地柄デアルカラ、古物商ト云フ様ナ思想モ内地ノ如ク判然成立ツテ居リマスルヤラ其邊ノ所モ判然トハドウモ認兼ネマス、且又從來此沖繩縣ノ如キハ總テ舊慣ニ據ツテヤレト云フ御承知ノ通り今日デハ法律ト同様ノ效力ヲ持ツテ居ル訓令デアリマセウカ、訓令ノ如キモノガ出テ居ル、サウシテ之ヲ改メルト云フコトニナリマスルト殆ド今申上ゲマシタ通リ土地ノ所有權カラシテ段々法律ニ從ツテ組織ヲ改メナケレバナラヌコトト思ヒマスカラ夫レマデノ所沖繩縣ハ先づ是レハ除イテ置イタ方ガ適當ト存ジマス、

○子爵小笠原壽長君 私モ一ツ御尋フンタイ、此十一條デアリマスガ、十一条ノ末ノ方ニ「又買主讓受主ヲ詳ニスルコトヲ得タルトキハ之ヲ記載スヘシ」と斯ウアリマスカラ、品物ヲ買ツタ人ガ分ツテ居レバ帳簿ニ書キ或ハ又分ラナイトキハ帳簿ニ書カネバナラヌト云フ様ナ手數ヲ掛ケテモ夫レダケノ來タトスルト其中ノ一人ダケ分ツテ居テ他ノ九人ハ分ラヌ時ニハ一人デモ分ッタ者ガ帳簿ヘ載ツテ居レバニ成ル程多少效能ハアルカハ存ジマセヌケレドモ、此古物商ニ斯ウ手數ヲ掛ケテ買主ガ十人來タ中デ一人ダケデモ分ツテ居レバ是非夫レラ帳簿ニ書カネバナラヌト云フ様ナ手數ヲ掛ケテモ夫レダケノ效能ハナカラウト私ハ考ヘマスルガ、是レハ矢張リ一人デモ買主ガ分レバ夫レヲ書ケバ大シタ效能ノアル譯デアリマセウカ、夫レヲ伺ヒマス、

○政府委員(都筑馨六君) 夫レハモウ無論是非書ケト斯ウ書イテアリマスレバ尙效能ハアリマセウト思ヒマス、必ズ古物商ハ其買主ヲ詳ニシテサウシテ其買主ノ身元ナリ何ナリヲ帳面ニ書載セヨト斯ウ法律ガ命令スレバ是レヨリハ尙ホ一層效能ガアラウト思ヒマス、併ナガラ古物商ノ方ハ古物商ガ買フ方ノ帳簿ヲコソ十分ニ取締ル必要ガアレ、賣ッタ先即チ素人デアルナラバ左程ニ嚴重ニ取締ル必要ハ實ハナカラウカト私ハ思ヒマス、尤モ斯ウ書イテアルコトニ對シテ效能ハドウカト云フコトニ就イテハ私ハ有ラウト思ヒマス、ト云フモノハ斯ウ書イテアレバ向フノ姓名ナリ何ナリヲ問ウテ書クダケノ義務ハ古物商ニ附クダラウト思ヒマス、分レバ書キ分ラヌ場合ハドウモ夫レマデモ必シモ古物商ガ聞イテヤレ調べテヤレト云フ法律上ノ義務ナリ權利ナリヲ古物商ニ附ケテ置ク必要モ實ハナカラウカト思ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發議ガゴザイマセネバ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤヲ表決ニ付シマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デゴザイマス、今朝本席ヘ御委託ニナリマシタル特別委員ヲ選定致シマシタニ依ツテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

(中根書記官長朗讀)

海軍刑法中改正法律案特別委員

侯爵鍋島直大君	子爵曾我祐準君	子爵伊東祐曆君
男爵神山郡廉君	男爵細川興貫君	男爵本田親雄君
箕作麟祥君	何禮之君	
村上桂策君		

(中根書記官長朗讀)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日豫言致シテ置キマシタル通り明日ハ會議ヲ休ミマス、明後日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

第一 商業會議所條例中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 内務省所管諸官衙及議院建築費並筑後川修築費

第四 緑越ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

午前十時開議

第一讀會

第五

市制中改正法律案(衆議院)
提出

第一讀會

第六

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第七

町村制中改正法律案(衆議院)
提出

第一讀會

第八

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

本日ハ散會、
午後零時三十六分散會

第一讀會